



ippo(いっぽ)

【研究主題】 キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成
～学部間をつなぐ仕組みを活かした取組～

今年度の研究は、学部研究の枠を取り払い、ワーキンググループ研究を主体として取り組んできました。これまで私たちが課題に感じていた「学部間のつながり」に積極的にアプローチした結果として、多くの成果がありました。今年度の最終号として、来年度に向けた取組についてお伝えします。

【その1】 ワーキンググループについて

- 学部間をつなぐ主体としてワーキンググループ研究を位置付け、年間指導計画の検討や授業づくりを重ねてきた。この取組により、各学年の連続性という視点で指導計画を見直し改善することができ、結果、年間指導計画の連続性が図られた。
- 来年度以降も、年間指導計画作成及び改善の手順として位置付けていく。（年度初め、中間評価）それに伴い、今後は教務部が主体となって、ワーキンググループによる検討会を進めていく。



【その2】 キャリア教育全体計画について

- ワーキンググループで検討した意見や授業実践、外部協力者からの意見等をキャリア教育全体計画「キャリア教育における目指す姿」(抜粋)に反映させ、整理・改訂した。研究を通してより日々の実践と結び付いたキャリア教育全体計画となった。
- 改訂した本計画が、平成29年度版となる。このキャリア教育全体計画は、小・中・高を貫く教育課程を編成するための基盤となり、学部目標や年間指導計画、授業づくりの指標の一つとして活用する。
- 校内活用だけでなく、地域の小・中学校での活用も促進する。（特別支援教育セミナー等）

【その3】 学部研究の充実について

- キャリア教育全体計画「キャリア教育における目指す姿」(抜粋)の活用を通して、授業づくり、授業改善のより一層の充実を図る。
- 今年度の研究の成果をもって、来年度は、再び学部研究を主体として取り組み、学部内の指導計画の連続性や目指す姿にせまる授業づくりについて深めていく。

★★★★★ 一年間、ありがとうございました ★★★★★

『地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成』
を目指して



天王みどり学園

マスコットキャラクター

みどりぼん